

第2期 第7回向日市エコ地域推進委員会 会議録

- ・ 日 時 : 平成21年6月19日(金)
午前10時～12時00分
- ・ 場 所 : 向日市役所 大会議室
- ・ 出席者 : 委員 10名
中村課長 笹田係長 高津総括主任
- ・ 傍聴者 : なし
- ・ 議 題 : 1. 「グリーンカーテン講習会」の報告
2. 「生ごみの堆肥化」
・ 今後の活動について
3. その他

■ 報告事項

- ・ 5月30日の「ノーレジ袋・マイバッグ運動」は、取組から3年目にして初めて市長がこの運動に参加していただき、市内のスーパー前で委員と一緒に、街頭啓発を行った。
今後、市としても有料化に向けて強気な姿勢を打ち出してもいいのではよいかとのお話があり、一度、これからの環境・ごみの減量について、市長と懇談をすることになった。

■ グリーンカーテン講習会の報告（5月15日開催）

(委 員)

- ・ 64名の参加者があり好評であった。
- ・ グリーンカーテンの講習会よりも堆肥化の方がかなりの反響があり、参加者から多くの質問を受けた。
- ・ 実際に堆肥化の袋を見せると、熱心に詳細等を聞かれた。このような熱心な人の中から1人でも2人でも感心をもってもらい、堆肥化の輪が広がってほしい。
- ・ 講習内容で、グリーンカーテンは、地球温暖化防止につながることはわかるけれど、ゴーヤの育っていく過程については何も教えない。つるは誘引して上へ伸ばすことにより早くネットに巻き付く。そういうことまで説明されるとより親切ではないか。

■ 4向のグリーンカーテンへの取組について

(経 過)

4向の校長先生が、校内でグリーンカーテンを作るので、設置してくれる人を探しているという話を聞き、エコ推進委員がお手伝いを申し出た。申し出た委員は、4向の敷地内にある、老人福祉センター琴の橋のサークルの会員でもあり、4向と琴の橋とは以前から交流があったので、今回のグリーンカーテンの設置もお手伝いすることになった。

また、グリーンカーテン講習会が終わり、実践的な活動をしようということでもあった。

ネットは木枠にしっかりと張り、苗も植えた。

その後も、水やり・つるの誘引・追肥・虫の駆除など、毎日世話をしている。そのおかげで今は順調に育っている。

材料については、苗とネットは学校で用意されていたが、ネットを張る木枠がなく、材料を購入しなければならない。購入費用について環境施策課に話してみると環境政策課では出せないと言われ、自分たちで負担しようということになったが、学校側で用意をしてもらうことになった。その他束帯は個人で負担をした。

隣では、関西電力が地球温暖化防止の取組として、4向にグリーンカーテンを設置する事業を行っている。

2つのグリーンカーテンを比べると、手をかけているのと、かけていないのとでは、かなりの違いが出ている。

(委 員)

- ・その取り組みについて、校長先生や、学校の方に折角植えたゴーヤをもう少し育てる方向にもっていけないものか。学校・行政を含めてどういうように進めていくかというのが大事。
- ・学校の校務員で水やりくらいはできないかと思う。
- ・学校にこういうことが好きな先生がいないと動かない。
- ・正式に今後もこの活動をするという文書を出して下さい。
- ・この取り組みを教育委員会は知らない。それでは、全体的な環境も育てられないのではないか。環境は縦割りではいけない。教育委員会も環境政策課もエコ地域推進委員会議も環境においては、一体でなければならない。
- ・座長が代表としての名前も出ていて、今もお世話をされているのだから

ら、実践活動のひとつとして、エコ地域推進委員会議として承認してはどうか。

- ・そこまでみなさんが取り組まれている、4向は自分たちで何もしないことに疑問を持つ。

(事務局)

今後、縦割りのものをなくしていき、お互いに情報交換をしながら取り組んでいきたい。

【 結 果 】

ここまで手をかけてやってこられた活動なので、エコ地域推進委員会議の、グリーンカーテンの実践活動として承認をした。

■ 生ごみの堆肥化の推進及び講習会の開催について

(委 員)

- ・10月か11月にコンポストの正しい扱い方や、土のう袋を使った堆肥化の方法などの講習会を開催してはどうか。
開催場所は、事務局一任でお願いしたい。
- ・一気に市民に広げるのは無理なので、この会のみなさんには絶対に取り組んでいただきたい。その体験を基にみなさんから手を広げていただきたい。
- ・貸し農園は、生ごみを堆肥化した市民に優先的に貸せばいい。また、二次処理を貸し農園でしてもいいのではないか。
- ・コンポスト支援はあるが、扱い方についての説明会は開かれたことがない。臭くて失敗してやめてしまう方が多いので、コンポストが有効利用されていない。このようなことから説明会をしてはどうか。
- ・この会議のわずかな人数で、生ごみの堆肥化に取り組、具体化しようとしているときに、行政としてなぜ進めようとしてくれないのか疑問に思う。
- ・ひまわり園はいつになればか借りてもらえるのか。
- ・堆肥化をしたいけれど、二次処理の場所がない。
- ・環境政策課がやっている油の回収に関しては、のぼり旗やポリタンクを準備しているが、私たちの会議で取り組んできている生ごみの堆肥化の二次処理の場所については、何も進んでいない。この活動が無視しているのですか。

- ・以前から4向の給食の調理の過程から出る生ごみを土の中で堆肥化することを提案してきた。4向には、堆肥化する場所がある。
今回のグリーンカーテンが成功して、来年も作るとなったとき、今の土に堆肥化した土を入れれば、連作が可能になるので、行政側から堆肥化を積極的に進めていただきたい。
- ・この間のグリーンカーテンの講習会の後に、30分くらい生ごみの堆肥化について時間をいただいたのも、この中の委員の努力のおかげであって、グリーンカーテン下の問題です。
生ごみの件に関しては、行政は何もやってもらっていませんが、それに対して弁解なり、話があるのですか。
予算も取らず、何も行政として援助しないというのは何か魂胆があるのか。

(事務局)

- ・9月の終わりから10月に、アウトドア（説明は屋内で堆肥化の実演は屋外）で開催してはどうか。
雨天の場合は実演も屋内でできるところを探しているところです。
講師については、前回同様でお願いしたい。
- ・今まで縦割りの的なものがあったので、それを改善して、コンポストを市民の方に有効に活用していただけるように進めていきたい。二次処理の場所についてはこれから何とか進めていきたい。

【 結 果 】

早い時期に講習会は開催することになった。

■ 廃食油回収について

(事務局)

- ・7月1日号の広報紙に掲載しますので、エコ推進委員会議としては、宣伝母体として協力いただきたい。
- ・申込者には、のぼり旗とポリタンクの支援をし、回収業者を紹介する。
- ・回収料は、リッター5円で、回収後は飼料として再利用。
今後バイオ燃料として再利用される業者も紹介していきたい。
- ・油の回収方法（回収時間等）は業者と事前に話し合っておいて下さい。
たとえば、午前中に回収したら、その日の午後に取りに来てもらうなど。

- ・現在回収を行っている地域でも新たに申込をしてください。

(委 員)

- ・回収日は燃えないごみの日に、ステーション附近に設置されれば、出し忘れがないと思う。
- ・近くに回収場所が無い場合は、遠くてものぼり旗があがっているところまで持っていかないといけない。
- ・P T Aや町内会でないと、個人ではむづかしい。

■ 向日市地球温暖化対策実行計画の取組について

(委 員)

- ・「LED照明等の高効率機器の計画的な導入」とあるが、LED照明は高いけれど予算上取り組める事項なのか。
- ・市民にごみの分別と言っているが、庁内に分別収集のごみ箱を設置していない。
- ・現在庁内に堆肥化容器が設置されていない。
- ・対象範囲に、体育館・温水プールが入っていないのはなぜか。
- ・庁外施設についての進め方はどのようにするのか。たとえば、公民館では、館長が削減目標を立ててそれを提案し、進捗状況をお互い監視するというしくみなのか。
- ・削減目標の5%は少ない。
- ・P.7の「生ごみの堆肥化の推進」は、どのような計画があって推進をされるのか。その説明がほしかった。
計画書についての説明があって、それについて問題があれば、エコ会議としての意見を聞くかたちがよかった。
- ・具体的な計画はいつ頃できるのか。
- ・実行計画を策定した課名が書かれていない。普通は制作した者を一番下に書かなければいけない。
- ・「生ごみの堆肥化の推進」の中に「ノーレジ袋・マイバッグ運動の推進」が記載されていない。
- ・この計画は、国や都道府県も策定しないといけないのでやっているのであって、それについて文句をつける力はない。これだけの人数では無理だ。また、この会議では議論する場ではない。
- ・太陽光発電について一言も書いてないし、公用車の燃料の削減につい

でも書かれていない。1年で数回しか使わない公用車がある場合廃車をした方がいいと思う。

長岡京市のようにマイカー通勤をやめればいい。そういうことまでしないとこの計画はないようなものになってしまう。

(事務局)

- ・堆肥化容器については、まだできていませんが、実際残飯だけを別の容器に入れている。それを堆肥化しようというものです。
やり方等については、今後考えなければならない。
- ・体育館・温水プールは向日市が管理をしている施設ではないので対象範囲外としている。この計画は向日市の事務事業内でのことなので、削減に向けての取り組みのお願いはします。
- ・公民館・コミュニティセンターに市の職員がいないので、担当課にお願いして、機会あるごとに協力していただくように周知をしてもらう。
- ・環境基本計画で、90年度比10%の目標を掲げている。
計画を立てるにあたり浄水場での電気の使用量が非常に多く、温室効果ガスの約50%が排出されている。
浄水場はISO14001を取得しており、90年度比で、約10%以上は削減されているので、あとの部分で10%の削減を考えている。90年度の事業内での数値をもっていないので、19年度比という表現になった。
- ・生ごみの堆肥化について具体的な計画はない。やっと実行計画ができたところで、これを基に進めていきたい。
具体的な計画は、市民の方をお願いすることや、費用的のこともあり、できるだけ早い時期と考えている。動けるのは22年度くらいと思っている。

■ 「マイバッグ運動」の事業所への協力依頼のその後について

(委員)

- ・12月に商工会へ協力依頼に行ったがその後前向きな話がないので一度会議を持ちたい。
今年商工会はKESを取得されたので、これを機にこの会議と一体となり取り組んでいきたい。
- ・KESを取得されたことが新聞に掲載されている。その中に「地域貢献活

動の実施を模索する」と書かれてあった。今は、模索する段階ではないと思う。

- ・グリーン購入といってもどの店がどのような形でレジ袋を出さないのか。はっきりした打ち出しがなければ、ただやっているだけではいけない。

(事務局)

- ・商工会が来庁され、環境に関しては商工会全体で取り組んでいくが、先ず体制を作っていきたい。最初は、ごみ減量推進協力店への取組からはじめていきたいと聞いている。

※環境にやさしい店（ごみ減量推進協力店）

ごみ減量やリサイクルの推進等に取り組む環境にやさしいお店として認定。

包装紙や紙類の簡素化、再生品を使用したエコマーク商品の販売など、環境に配慮した取り組みが行われている。

(現在29店舗)

■ その他

(委員)

- ・向日市まつりの取り組みとして、レジ袋や割り箸を使わないとか。一つでも進めて行ってほしい。
- 広報紙の掲載も、昨年のように端に載せるのではなく、大きく掲載をしてもらいたい。